

石狩データセンター見学会を開催 AI 時代を支えるデジタルインフラの現場を体感



北海道・石狩で、データセンターの「今」を学ぶ

2026 年 9 月 4 日（金）さくらインターネット株式会社のご協力のもと、石狩データセンター見学会を開催しました。

会員企業などから 20 名が参加し、札幌駅からバスで現地へ移動。施設の概要説明に続き、データセンターを支える設備や運用上の工夫について、担当者の皆さまから丁寧な解説をいただきました。

クラウドや生成 AI の利用拡大に伴い、データセンターは社会や産業を支える重要な基盤となっています。一方、その安定運用にはサーバーやストレージだけでなく、電力供給、冷却、ネットワーク、保守、セキュリティなど、多様な技術の連携が欠かせません。

今回の見学は、それらを一つのシステムとして捉える貴重な機会となりました。また、最新のデータセンターを直接見て、電力・冷却・計算・ストレージを支える機器構成を身近に感じることができた、大変有意義なツアーとなりました。

冷涼な気候を生かす、環境配慮型のデータセンター

石狩データセンターは、北海道の冷涼な外気を冷却に活用することで、空調に必要な電力の削減を図っています。棟ごとに採用されている冷却方式が異なり、施設の拡張や技術の進化に合わせて、より効率的な方式を取り入れてきたことが印象的でした。データセンターが一度完成すれば終わりではなく、継続的な改善によって進化する施設であることを実感しました。

また、石狩データセンターでは水力発電を中心とする再生可能エネルギー電源 100%への切り替えにより、2023 年 6 月から電力使用に伴う CO2 排出量ゼロを実現しています。高い計算能力を提供しながら環境負荷を抑える取り組みは、今後ますます重要になると感じました。

安定稼働を支える電源・冷却・セキュリティ

データを守り、サービスを止めないためには、多重化された電源設備や非常時への備えが不可欠です。見学では、受電・配電、無停電電源装置、非常用発電設備などが連携し、万一の際にも安定した運用を継続する考え方を学びました。冷却設備についても、外気や熱の流れを管理し、機器を適切な環境に保つための設計思想を身近に感じることができました。

入退館からサーバールームまで段階的に管理されるセキュリティも、データセンターならではのものです。物理セキュリティと日々の厳格な運用が組み合わさることで、重要なデータとサービスの信頼性が支えられていることを理解できました。

AI 時代の高密度コンピューティングを支える

生成 AI の普及により、高性能 GPU を用いた計算基盤への需要が急速に高まっています。高密度な計算設備は、従来以上に大きな電力と高度な冷却を必要とします。今回のツアーでは、こうした設備を支えるインフラのスケール感を直接体感し、AI サービスの裏側にある電力・冷却・ネットワーク・ストレージの重要性をあらためて認識しました。

さくらインターネットは、石狩データセンター敷地内のコンテナ型データセンターで、NVIDIA Blackwell GPU 約 1,100 基を搭載した AI インフラを 2026 年 2 月に稼働開始したと公表しています。需要の変化に合わせて計算資源を柔軟に拡張する姿勢から、データセンターの新しい発展の方向性を感じることができました。

ストレージ産業の視点から得た気づき

一般社団法人 IDEMA 会員にとって特に興味深かったのは、計算基盤を支えるストレージが、データセンター全体の中でどのように位置づけられているかを実際の環境で考えられたことです。HDD と SSD は、容量、性能、消費電力、コスト、用途などの特性に応じて使い分けられます。AI 時代には計算性能の向上だけでなく、生成・蓄積される膨大なデータを安全かつ効率的に保存し、必要なときに活用できる仕組みが不可欠です。部品、材料、装置、ストレージ製品、システムなど、異なる領域に携わる参加者が同じ現場を見たことで、各社の技術がデジタルインフラの信頼性や持続可能性にどう貢献できるかを考える機会にもなりました。施設見学後の懇親会では、見学で得た気づきをもとに、企業や専門分野を越えた活発な交流が行われました。

現場で学ぶことの価値

Web サイトや資料だけでは、設備の大きさ、機器が発する音や熱、配線・配管を含む全体構成、そして安全・安定運用を支える細やかな工夫までは十分に実感できません。今回、最新のデータセンターに直接触れたことで、デジタルサービスが多くハードウェアと運用技術によって支えられていることを、より立体的に理解することができました。

一般社団法人 IDEMA では今後も、データストレージとデジタルインフラに関わる技術交流の機会を設け、会員企業間の知見共有と新しい連携のきっかけづくりに取り組んでまいります。

謝辞

本見学会の開催にあたり、貴重な機会をご提供いただき丁寧にご案内くださったさくらインターネット株式会社の皆さまに心より御礼申し上げます。

参加企業（一部・順不同）

ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社 / 株式会社アイオーデータ / 日東電工株式会社 / 株式会社レゾナック・ハードディスク / 日本発条株式会社 / 東芝デバイス&ストレージ株式会社 / 株式会社東芝 / マイボックス株式会社 / HOYA 株式会社 / 信越化学工業株式会社 / NGK 株式会社 /

参考情報（公開情報）

さくらインターネット「石狩データセンター」 <https://datacenter.sakura.ad.jp/location/ishikari/>

さくらインターネット ニュースリリース（2023 年 6 月 14 日）

[「さくらインターネット、石狩データセンターの CO2 排出量ゼロを実現」](#)

さくらインターネット ニュースリリース（2026 年 2 月 25 日）

[「NVIDIA Blackwell GPU 約 1,100 基を搭載した AI インフラの稼働を開始」](#)